



WEEKLY REPORT

国際ロータリー第2600地区 上田ロータリークラブ
(創立1959年11月12日)



UNITE
FOR
GOOD

よいことの
ために
手を取りあおう

2025-2026年度 国際ロータリーメッセージ

よいことのために手を取りあおう

R.I.会長 フランチェスコ・アレツツォ

国際ロータリー第2600地区 ガバナー 小林 磨史

2025-26年度 上田ロータリークラブ

- 会長 窪田 秀徳 ●副会長 内河 利夫・飯島 幸宏
- 幹事 湯田 勝己 ●会報委員長 藤森 幸路

第2992回例会 (令和7年7月28日)



ホームページQR

[入会セレモニー]

◆菅平高原ホテル柄澤

専務取締役

柄澤 俊弘さん

◆推薦者 鈴木 芳朋さん



[米山奨学金授与]

米山奨学生 金 セハさん



[会長挨拶]

窪田 秀徳 会長

皆さま、こんにちは。

本年度の上田ロータリークラブの
テーマを「地域と仲間の絆物語」
と定めさせていただきました。



このテーマには、「職業の違いを超えた信頼関係と、
地域社会との関わりを深めていきたい」という願いを
込めています。本日は、私の生業である「建築」の中の
「住宅建築」の分野から、この“絆”というテーマを深める
お話になるのかわかりませんが、お役に立てるお話を
させていただきます。

～2025年建築基準法改正とこれからの住まいの話～

私たちが暮らす地域では、2025年4月から施行された
建築基準法の大幅な改正により、住宅の考え方が大きく
変化しようとしています。これまでは比較的自由に、
早く安く建てられる印象があった住宅建築ですが、今回
の改正では「安全性」と「持続可能性」が重視される方向に
舵が切られました。

この法改正の中心は、「4号特例の縮小」です。これまで
の「4号特例」は、一般的な木造2階建て以下(延床面積
500㎡未満)の住宅に対し、構造計算や壁の配置などの
チェックが緩和される制度でした。しかし、2025年4月
からはこの特例が縮小され、多くの住宅が事実上「構造
審査の対象」となりました。

具体的には、これまで免除されていた構造計算や壁量
計算などが原則必須となり、建築基準法上は「4号建築」
から「1号建築」へと“昇格”する形になります。この改正
は、地震や台風、水害といった災害リスクが高まる中で、
住宅の耐震性や耐風性を確実に確保するために行われ
ました。これは、耐震偽装問題や老朽化による空き家の
倒壊といった社会課題を踏まえ、国が住宅の「中身＝構造
の安全性」に注目するよう促すメッセージでもあります。

■住宅を建てたい・リフォームしたい人はどうすればいいの？

では、家を建てようとしている人、リフォームしよう
としている人はこの改正をどう受け止め、どう考えるべき
なのでしょうか？

まず大切なのは、「費用は少し増えるが、それ以上の
価値を得られる」という点です。

▼法改正で増える可能性のある負担

- ・設計段階での構造計算費用の増加
- ・確認申請の手続きが煩雑化
- ・工期が伸びてしまう

一見するとデメリットばかりに見えるかもしれません。

しかし、実際にはこの法改正によって・・・

▼ 長期的には“得”する変化

- * 耐震・耐風・耐雪などの「安全性能が高い家」になる
- * 将来、売却や相続時にも2025年建築なので「資産価値が下がりにくい」かも？
- * 「空き家にならない家」を目指せるかも？
- * リフォームでも構造補強が進み、「家の寿命が延びる」かも？

つまり、これからの家は「安さ」というよりも「資産としての価値」「安心して住み続けられる力」が求められるようになったと言えるのではないのでしょうか。

■ 平屋住宅という選択が注目される流れと理由

以前より、年々老若男女に注目されてきました「平屋住宅」ですが、更にこの法改正で関心が益々高まってきました。

弊社は、上田市で初めて『コンパクトな平屋のモデルハウス』を公開しました(売却済み)。この時、想像以上の来場者数に驚きました。現在は、中之条の“しんきん城南支店”隣に自社開発のコンパクトな『平屋日和モデルハウス』として常設しております。予約制でのご見学となります。お陰様で県内外からご予約をいただいています。

平屋住宅の優位性

構造の安定性…2階がないため、耐震性が高い
設計の簡素さ…壁量計算や耐力壁配置がしやすい
生活動線…階段がなく、バリアフリー対応も自然
エネルギー効率…

空間がコンパクトで、光熱費が抑えられる
維持管理のしやすさ…

将来のリフォームやメンテナンスが容易

住みやすさの再認識・高齢化社会・核家族化・共働き世帯の増加・コンパクトさゆえの価格優位性など、現代の家族形態にマッチした住まい方として、“ちょうどいい平屋”が確かに見直されています。

これからの家づくり：重視すべき3つのポイント

家を新築、購入、改修、または再活用する際に、特に重要となる3つの視点があります。

1. 構造の安全性は「命を守る最低条件」

現在の法規制下では、家の構造安全は自己責任では済まされません。家族の安全を守るためにも、確実な構造計算と設計に基づく家づくりが不可欠です。

2. 「資産価値」を意識した家づくり

これからの住宅は、購入後すぐに価値が下がるものではなくります。構造計算がきちんと行われた家は、売却、相続、賃貸の際に市場価値を維持しやすく、「流通する住宅」として人気を集める可能性を秘めています。

3. ライフスタイルの変化に対応できる家

家族構成や働き方の変化に対応できるよう、流行に左右されない普遍的なデザイン、経年による美しさ、柔軟な間取り、リフォームしやすい構造、そして省エネ性を備えた住まいが求められます。特に平屋は、これらの点で優れた選択肢となるでしょう。

■ 「流通する住宅文化」への転換とその意義

このような視点をもって住宅をつくる・選ぶという文化が広がっていけば、日本が長年抱えてきた住宅問題のひとつ、「スクラップ&ビルド(壊しては建てる)」という悪循環にも、歯止めがかかる可能性があります。つまり、「良い家をつくり、それを次の世代に譲る」という考え方こそが、これからの日本の住宅に必要な“文化の転換”です。そして、それができる家とは・・・

* 法に適合した構造

* 省エネ性とメンテナンス性

* 家族が心地よく暮らせる間取り

以上の事を兼ね備えた、長く愛される住まいであり、将来も人気者となる住まいなのです。

◆ おわりに

住宅建築は、一生に一度の大きな選択です。それだけに、「何を基準にすべきか」がとても大切になります。今回の建築基準法改正をきっかけに、ぜひ家づくりやリフォームに対する考え方を一度見直してみてください。「今のコスト」だけでなく、「将来の価値」を見据えて、家を“守る”だけでなく、“つなぐ”という意識で住まいと向き合っていたいただけたら嬉しく思います。そして、私たち建築に携わる者も、地域の皆さまと共に、空き家にならない住まい、資産として流通する家づくりを進め、この地域の「安心と持続可能性」に貢献していきたいと考えています。

本日は、建築に携わる立場から「住宅建築」に対して法改正が示す日本の住宅文化の未来についてお伝えしました。少しは、お役に立てる情報提供だったとすれば幸いです。

[役員・理事・小委員長 就任挨拶]

◆ 桑原 茂実 職業分類(会員選考)委員会委員長

かつては、一業種一会員制という同じ職業の会員を一人だけ認める制度を採用していましたが、2019年に廃止されました。入会を希望する方々にロータリー情報委員会矢島委員長と共に面接を致します。ロータリーガイドを基に食事を取りながら、ルールや決まり事を話ながら談話し、お仕事の内容を聞きながら最適な分類をしていきたいと思っています。大勢の入会希望者のご紹介をお願いします。



◆矢島 康夫 ロータリー情報委員会委員長

ロータリー情報委員会は、職業分類(会員選考)委員会と協力し、入会前の会員候補者に、ロータリークラブの基礎知識・会員としての責務を提供し、早くクラブに馴染めるよう支援をしております。また、RI・地区等の最新情報を収集し、皆様に提供しております。本年度は、副委員長に島田さん、委員に横沢さん、関 啓治さんという大ベテランの皆様を支えられながら委員会を運営して行きますので、会員各位のご協力をお願いいたします。



◆酒巻 弘 会場・出席委員会委員長

会場・出席委員会は窪田会長の方針に基づき会員の皆様、ゲストの方々がスムーズに、楽しく参加できるような例会の環境を作れるよう目指します。



各委員会とも連携をとりながら情報共有、役割分担をわかりやすく協議し、活発な活動が出来るように取り組み、より充実した中身の濃い例会になるよう事前準備、例会運営を行ってまいります。

会員の皆様のご協力とご助言を合わせてお願い申し上げます。

◆小幡 晃大 プログラム委員会委員長

窪田会長方針にある『RCの公共イメージ向上と会員増強の機会とする』、『会員同士が各職業のプロである特典を生かせる場づくり』に基づき実施したいと思います。ゲストスピーチ、会員(職業)のプロの話を聞く、新入会員卓話、テーブルディスカッション形式で行う卓話などを計画しております。ロータリー特別月間では、担当委員長からタイムリーな情報を含め、卓話をお願いしたいと思います。会員増強、公共イメージ向上を主とした、オープン例会が2回ございます。小林委員長さんをお願いしておりますが、会員皆様のご理解、ご協力をいただきたく、よろしくお願い致します。



一年間、有意義な例会運営に努めて参りたいと思います。会員皆様のお力添え、どうぞよろしくお願い申し上げます。

◆小山 宏幸 ニコニコBOX委員会委員長

比田井美恵さん、島田太一さんと私の3人でニコニコBOX委員会を務めさせていただきます。会社や家庭でお祝い事があったとき、クラブから慶行事等でお祝いを送られたときはもちろんですが、ゲスト等への歓迎や会員卓話への応援などの気持ちを表したいときなど、メッセージと共に皆様の御喜投をお願いします。ニコニコBOXを通じて会員同士の親睦を深めていきましょう。また一般会計予算も大変厳しい状態ですので、窪田会長の活動予算達成のためにも、ラッキー賞等もどんどん増やしていただき、ニコニコBOX収入増加を目指しております。皆様の温かいお心遣いをよろしくお願いします。



◆保科 茂久 雑誌委員会委員長

本年度、雑誌委員長を仰せつかりました保科です。



雑誌委員会は伊藤副委員長とともに、例会において毎月配布される「ロータリーの友」を紹介します。「ロータリーの友」は、日本のロータリー34地区の会員のためのロータリー地域雑誌として、RIの方針や全世界のロータリアンならびにロータリークラブの活動を国内の会員に紹介して海外のロータリー活動に対する興味を高め、国内の地区・ロータリークラブおよび会員の活動状況を紹介して親睦を図り、また国内外における各種ロータリー情報を掲載することによりロータリーの精神の養成、ロータリー活動の発展に寄与するために発行されています。「ロータリーの友」をいち早く読んで、誌の中で特に注目すべき記事を紹介し、会員の皆様の相互理解を深めて頂ければと思います。

1年間どうぞよろしくお願いいたします。

◆藤森 幸路 クラブ会報公共イメージ向上委員会委員長

今年度、クラブ会報・公共イメージ向上委員会の委員長を仰せつかりました藤森幸路です。一年間、どうぞよろしくお願い申し上げます。窪田会長の下、小林秀茂さんを副委員長に、高橋さん、新会員の愈さん、尾台さんと共に会報運営しております。当委員会は、上田ロータリークラブの活動を内外に発信する重要な役割を担っていると強く意識しております。クラブ会報を通じて会員間の情報共有と親睦を深めるとともに、私たちの奉仕活動を地域社会



の皆様にお伝えし、ロータリーの公共イメージ向上に努めてまいります。今年度は、前年度の経験を踏襲して活動してまいります。とクラブ計画書へは書かせていただきましたが、新年度会報作成2回目でデジタル化に完全移行することになり、改めて委員会の皆さんと共に試行錯誤しながら良いものを作っていきたいと思います。この1年は委員の皆さんと協力しながら、楽しくよりオープンでスピーディーな会報づくりを目指してまいります。

そこで会員の皆様へご協力のお願いがございます。会報は例会後の非常に限られた時間で作成しております。デジタル化されたとしても会報作成の工程に何も変化はございませんつきましては、ご寄稿いただく原稿はゲストスピーカーの皆様も含めて、データでご提出いただけますようお願い申し上げます。基本としては、ご提出いただいた本文をそのまま掲載させていただきますことをご了承ください。また、会報の掲載字数に限りがございますので、お話いただく内容とご提出していただく内容は同一でなく割愛していただいても構いません。例会の様子や活動の報告を分かりやすく載せることは、より良い会報づくりはもちろん上田ロータリークラブの魅力発信に繋がります。一年間、委員一同精一杯務めますので、皆様のご理解とご協力を心よりお願い申し上げます。

[幹事報告] 湯田 勝己 幹事

1. 米山奨学会 ハイライトよねやま 304号
2. 地区事務所
帰国報告会及びホームカントリー紹介のご案内
ロータリー財団寄付明細表(2025年6月)
米山記念奨学会
①寄付金納入明細総合表(2025年6月)
②寄付金納入明細表(2025年6月)
③表彰一覧(2025年6月)
④寄付金傾向(2025年6月)
3. 上田六文銭RC ガバナー補佐事前訪問のご案内
4. 東信ジャーナル 暑中広告
5. 豊かな環境づくり
上小地域会議 令和7年度豊かな環境づくり上小地域会議負担金納入について(依頼)
6. 映画「ぼくが生きてる、ふたつの世界」上田市上映会について

『ロータリーの友』紹介 保科 茂久 委員長
2025年7月号 ロータリーの友 紹介

[ニコニコBOX] 小山 宏幸 委員長
石井慧人さん 出田行徳さん 伊藤典夫さん 金子良夫さん 上島孝雄さん 窪田秀徳さん 桑原茂実さん 小山宏幸さん 佐藤倫さん 酒井喜雄さん 酒巻弘さん 滋野眞さん 鈴木芳朋さん 関啓治さん 田邊利江子さん 土屋勝浩さん 土屋陽一さん 比田井美恵さん 保科茂久さん 三井英和さん 矢島康夫さん 柳澤日出男さん 兪希英さん 横沢泰男さん

本日喜投額 24名 ￥ 37,000円
累 計 ￥185,000円

[例会の記録]

司会：酒巻 弘 会場・出席委員長
斉唱：ロータリーソング「奉仕の理想」

●入会セレモニー

柄澤 俊弘さん 菅平高原ホテル柄澤 専務取締役
推薦者 鈴木 芳朋さん

●米山奨学生 金 セハさん

●会長挨拶 ●幹事報告

●役員・理事・小委員長 就任挨拶

[ラッキー賞]

兪 希英さん(窪田秀徳会長より 奈良のお菓子)
関 啓治さん(矢島康夫さんより スイスのチョコレート)
佐藤 倫さん(湯田勝己さんより

東京駅No.1人気クッキー)

土屋陽一さん(滋野 眞さんより 雪中梅)



[出席報告]

酒巻 弘 会場・出席委員長

	会員数	出席 ベース	出席 者数	出席 免除(b) ()内は 出席者数	出席 免除(a)	メイク アップ ()内は Make up 後	出席率
本日	52	52	40 コロナ欠席 0	4(4)			76.92
前々回 (7/7)	51	50	43	4(3)		2(45) コロナ欠席 0	90.00

[次回例会予定]

8月18日(月) 納涼夜間例会

(8月4日発行)

【会報担当】 小林 秀茂 会報委員